1. 個人データ

職名: 講師 氏名: 平野 洋平 学位: 博士(教育学) e-mail: y-hirano@kobse-kosen.ac.jp

2. 教育・研究テーマ

【英語学習者による「位置変化」と「状態変化」を表す英語表現の習得に関する研究】

理論言語学における知見を第二言語習得の研究を通じて英語教育に還元することを大きなテーマとして研究に取り組んでいます。これまでは、日本語を母語とする英語学習者を主な対象に、「位置変化」や「状態変化」を表す英語表現を学習者が習得していく際に、学習者が日本語と英語それぞれのどのような特性に影響を受けやすい(あるいは受けにくい)のかということを検証してきました。

これまでの検証で、位置変化や状態変化を表す英語表現において、英語の主動詞が「様態」を表すか「結果」を表すかによって、学習者がその英語表現をどの程度自然な表現と感じるかに有意な差が生じることが明らかになりました((1) vs. (2) / (6)(7) vs. (8)(9))。また、学習者は、到着点までの「経路」や状態変化の「推移」が to, into, onto のような "to" という音形を持つ前置詞で明示される表現を自然な英語表現とみなしやすいことが明らかになりました((2) vs. (3)(4)(5) / (6)(8) vs. (7)(9))。さらに、日本語を英語に直訳したような表現((10)(11))を自然な表現として過剰に認めやすい傾向があることも分かりました。

- (1) a. Tom came/went to the station.
- (2) a. Tom ran to the station.
- (3) a. John swam under the bridge.
 - b. ジョンは 橋の 下で/*に 泳いだ。
- (4) a. John ran behind the wall.
 - b. ジョンは 壁の 後ろで/*に 走った。
- (5) a. John jumped in the water.
 - b. ジョンは プールの 中で/*に 跳んだ。
- (6) a. Mike painted the wall black.
- (7) a. John broke the glass into pieces.
- (8) a. Paul kicked the door open.
- (9) a. Bob stabbed the man to death.
- (10) a. Tom ran and came/went to the park.
 - b. Tom came/went to the park by running.
- (11) a. Paul kicked and made the door open.
 - b. Paul made the door open by kicking it.
 - c. Bob stabbed and got the man to death.
 - d. Bob got the man to death by stabbing him.

- b. トムは 駅に 来た/行った。
- b. *トムは 駅に 走った (走って来た/行った)。

(着点読み/場所読み)

(場所読みのみ)

(着点読み/場所読み)

(場所読みのみ)

(着点読み/場所読み)

(場所読みのみ)

- b. マイクが 壁を 黒く 塗った。
- b. ジョンは グラスを 粉々に 壊した。
- b.*ポールは ドアを オープンに 蹴った。
- b.*ボブは 男性を 死に 刺した。

3. その他のデータ

(1)教育・研究技術相談可能分野

- 第二言語習得研究
- 応用言語学
- · 英語教育 · 学習全般
- 英語資格試験

(2) 出前講義・公開講座,講演可能テーマ

- ・学習英文法について
- ・英語資格試験の対策について
- ・理論言語学(日英対照の統語論や形態論)について

(3) キーワード

• 第二言語習得、応用言語学、英語教育、移動構文、結果構文